

7. 市民のための市役所 ①行政サービスの充実

評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長 中西 章		
令和4年度 実行宣言			
政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
二役部長会議では、年間を通じて横断的・効率的な会議の運用を行うことができ、新型コロナウイルス感染防止対策として外局職場のオンライン参加の拡大に努めました。 危機管理事案等の発生時には、速やかに二役へ報告を行い、市民等への影響の拡大防止を重点に早期に事態収束に向けた対応を行いました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
政策調整秘書業務の円滑な推進と、市民に信頼・信用される市政を確立するための危機管理に対する迅速な対応に努めます。			

評価者	コンプライアンス担当理事 船木 精二		
令和4年度 実行宣言			
政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
危機管理に対しては、全庁的に内部統制及び危機管理能力の向上に取り組んでまいりましたが、昨年度は逮捕者も複数出するなど、職員のモラルやコンプライアンス意識について問われる事件が相次いだことは深く反省すべきであり、今後の対応に大きな課題を残しました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
全庁的なコンプライアンス(法令遵守)意識の向上を図り、内部統制の再点検と改善に努めます。			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

評価者	企画振興部長 藤木 洋司		
令和4年度 実行宣言			
<p>・「人口減少対策」として、地方創生総合戦略にある「定住促進」「少子化対策」「雇用創出」「地域づくり」の分野で取り組み、効果的に事業展開できるように中長期的な視点で部局間の連携などの調整に努めます。特に、南三重への県立大学の誘致を推進するとともに、交流人口と関係人口の増加につながる取組を横断的に進めます。</p> <p>・オンライン申請(電子申請)の拡大や公開型GIS(地理情報システム)などの導入に取り組み、市役所へ行くことなく、スマホやパソコンからさまざまな申請や手続きが簡単にできる環境の構築を進めます。また、本庁・地域振興局・出張所等の業務機能の見直しやデジタル技術・民間活力の活用などを通じた業務の効率化等に取り組み、職員がより専門性が求められる業務に専念できる配置や体制整備を進め、市民サービスの向上に繋がります。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>・昨年度は、市ホームページにオンライン申請総合窓口「ちゃちゃっと手続き」を開設し、93の行政手続き等を自宅などから行うことができるようにするとともに、公開型GIS(地理情報システム)、遠隔窓口システム、イベント情報集約サイトなども導入し、市民の利便性向上とDXの推進を図りました。</p> <p>・若者流出・定着等の観点から、県に対して南三重の5市10町で協働し県立大学設置の要望書の提出を行いました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>・オンライン申請ができる行政手続きの範囲拡大に取り組むとともに、クレジットカード決済機能等も導入しさらなる充実を図ります。また、導入した遠隔窓口システムの活用状況等を検証し、本庁と地域振興局の業務内容や分担、職員配置の見直しなどに取り組み、市民目線に立ったサービスの向上に繋がります。</p> <p>・総合計画等評価委員会からの中間報告を全庁で共有するとともに、PDCAサイクルを効果的・効率的に回しながら次期総合計画の策定に着手します。</p> <p>・生成AI技術を、セキュリティ等のリスクを考慮した活用を検討し、事務事業の効率化や事務の軽減につなげます。</p>			

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和4年度 実行宣言			
<p>地域振興局及び出張所の業務や在り方に関する課題について関係部局とともに検討し、現在の市民サービスを維持し、住民福祉の向上など、地域や行政の新たな課題に対応できる組織や業務のあり方について方向性を定めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>出張所の業務や在り方について、市政改革課と出張所機能の見直しについて検討を行いました。また、住民福祉の向上において、飯高振興局と嬉野振興局に「福祉まるごと相談室」を設置しました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>地域振興局の業務や在り方に関する課題について関係部局とともに検討し、職員体制や業務の見直しなど、地域や行政の新たな課題に対応できる組織や業務のあり方について方向性を定めます。また、三雲管内と飯南管内に「福祉まるごと相談室」の設置に向けて関係部署と協議を進めます。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

評価者	総務部長 池田 肇		
令和4年度 実行宣言			
<p>社会情勢や多様化する市民ニーズに対応できる環境づくりに努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>庁舎本館外壁改修工事により、施設の長寿命化を図るとともに、新たな外観で市民を迎えることができました。またキッズコーナーの新設や、安全・安心カメラの設置を行い、安心して利用していただける施設運営に努めました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>多様な市民ニーズに配慮し、分かりやすく利用しやすい施設の環境づくりに努めます。</p>			

評価者	環境生活部長 谷川 英次		
令和4年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードセンターでのカード交付枚数を令和3年度と比較して3倍を目指します。 ・マイナンバーカードの申請率向上に向けた出張申請受付を積極的に行い普及促進を図ります。 			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>マイナンバーカードセンターでの令和3年度の交付枚数は6,100枚で、令和4年度の交付枚数は19,539枚となり、目標18,300枚に対し目標達成となりました。これはマイナポイント第2弾によるものや、9月末に発表された現行保険証の廃止等による効果も著しいものであったと考えます。</p> <p>出張申請受付について令和4年度は88回開催をしました。令和3年度に引き続き、大規模商業施設や振興局、地区市民センターでの開催回数を増加し、また新たにワークセンター松阪での講座開始前後や要望のあった企業での開催等を開催しました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>従来出張申請会を実施するとともに個別訪問による申請を実施し、令和4年度の出張申請回数88回に対し、令和5年度においては150回以上開催することを目標にします。</p> <p>令和5年度末におけるマイナンバーカード交付率75%以上をめざします。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和4年度 実行宣言			
引き続き、事業執行に当たっては、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所管課との連携を密にし、安全かつ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
一部、コロナ禍の影響で材料の納入が遅れ、工期延長を行った事業もありましたが、庁舎本館外壁他改修工事、松阪市立嬉野中学校校舎大規模改造工事(第2期)、本庁舎本館等4施設における太陽光発電設備設置工事や令和3年度の繰越事業も含め、『工事78件、委託業務26件 総事業費約30億9千万円』について、安全かつ適正に実施しました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
事業執行に当たっては、社会の状況や所属課のニーズを的確に反映し、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所属課と連携を密にし、安全かつ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	マイナンバーカード交付率				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	25.0 %	44.0 %	47.0 %	50.0 %	
	実績	20.8 %	35.8 %	49.7 %	68.0 %	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	大規模商業施設や振興局、地区市民センター等での出張申請会を継続するとともに、外出する手段が限定されている方々に対し、これまで対応できていなかった個別対応を開始します。さらに、若年層(18歳まで)の取得率向上のため、同年齢層を主眼とした健康センターはるるや幼稚園、保育園等での出張申請会を開催します。						
数値目標 ②	項目	電子申請できる手続きの種類				目標種別	↑
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	20 種類	20 種類	20 種類	20 種類	
	実績	9 種類	10 種類	28 種類	93 種類	—	
	評価	—	E	S	S	—	
今後の方針	オンライン申請(電子申請)ができる行政手続き等の種類を拡大するとともに、機能の充実に取り組み、利用者の利便性の向上を図ります。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	職員提案制度により部局の検討に至った提案(累計)				目標種別	↑
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	5 提案	10 提案	15 提案	20 提案	
	実績	—	10 提案	15 提案	23 提案	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	職員のやる気を引き出し、積極的に多様なアイデアが提案されるような環境の醸成に努め、優れた提案が市政運営の一つでも多く生かされるよう取組を進めます。					

関係所属	
秘書課、経営企画課、情報システム課、市政改革課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局、総務課、財務課、職員課、戸籍住民課、営繕課	

7. 市民のための市役所 ②確かな行政サービスの提供

評価者	企画振興部長 藤木 洋司	
令和4年度 実行宣言		
<p>・総合計画等評価委員会の評価に対して、改善が必要なものについては、実施計画や当初予算に迅速に反映するよう全市的な調整を図ります。また、財源の確保のため企業版ふるさと納税の推進を図ります。</p> <p>・市内ネットワークおよび各種システムを安全に安定稼働させ、遅滞なく住民サービスを提供します。</p>		
↓		
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆
<p>・昨年度も、市内ネットワークおよび各種システムをトラブルや事故もなく安定的に稼働させることができ、住民へのサービス提供を途切れることなく行うことができました。</p> <p>・実施計画のヒアリングにおいては、事業の改善や実施時期の前倒しなどの調整を図るとともに、企業版ふるさと納税では、物納にて総合運動公園で活用するコンテナハウス8棟を受納し施設の利便性向上を図るとともに、計4社から寄附を受けることができました。</p>		
↓		
令和5年度 実行宣言		
<p>・市内ネットワークと各種システムを継続的・安定的かつ安全に稼働させ、様々な住民サービスを途切れなく提供します。</p>		

評価者	総務部長部長 池田 肇	
令和4年度 実行宣言		
<p>障がい者雇用率の引き上げ、職員一人ひとりが仕事への意欲・能力を向上させ、行政課題を解決する人材確保と育成に努めます。</p>		
↓		
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆
<p>障がい者雇用率は2.60%(前年度1.94%)で、初めて法定雇用率を達成することができました。また行政サービス向上に向け即戦力として、社会福祉士、システムエンジニア、弁護士といった専門職、UIJターン社会人など多様な職種で採用を行い、人材確保に努めました。</p> <p>入札制度において、入札参加者の負担軽減、事務の効率化を一層図るため、新しい電子入札システムを導入し、令和5年3月より運用を開始しました。</p>		
↓		
令和5年度 実行宣言		
<p>職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した魅力ある職場環境づくりに取り組み、活動意欲、知識やスキルのある人材の育成と確保に努めます。</p>		

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

評価者	会計管理者 刀根 薫		
令和4年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の効率化に向けて取り組みます。 ・会計事務に関する各所属職員の意識の醸成を図ります。 ・公金の有利な預け入れに取り組みます。 			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の効率化については、支払相手方への支払通知書の廃止に向けての協議等を行い4年度中の改善はできなかったが、行革チャレンジ予算(5年度当初)を獲得できました。今後支払システム導入に向けて取り組みます。なお、4年度は人員を削減できるほどの効率化はできませんでした。 ・各所属職員の意識の醸成については、グループウェアによる会計事務情報の提供(8回)とLoGoフォームを使用して「財務スタディ100」を実施、職員の財務・契約・会計処理等に対する意識及び知識の向上に努めました。 ・電子帳簿保存法やインボイス制度への対応に向けた研修を財務課及び松阪税務署と共同で行いました。 ・公金の運用では昨年度に引き続き三重県債の運用を行いました。 			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の業務量の削減に向け、効率化、事務改善に取り組みます。 ・会計事務に関する各所属職員の意識の醸成を図ります。 ・公金の有利な預け入れに取り組みます。 			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでいる職員の割合				目標種別	→
	評価者	総務部長部長 池田 肇					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上	
	実績	61.5%	60.8%	61.4%	62%	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き、業務改善等に取り組む職員の割合を増やしていきます。					
数値目標 ②	項目	庁内ネットワークおよびシステムの稼働停止率				目標種別	→
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	0.1%以下	
	実績	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	既存の庁内ネットワークは、機器の経年劣化が進みつつあることから、セキュリティ対策を行いつつ長期的・継続的に安定稼働させるために、機器等を適切に更新を行い安全かつ安定的に稼働させます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

関係所属
経営企画課、情報システム課、職員課、契約監理課、建設総務課、会計管理課

7. 市民のための市役所 ③公民連携の推進

評価者	企画振興部長 藤木 洋司		
令和4年度 実行宣言			
<p>共創デスクやサウンディング型市場調査等を通じて、市政運営に積極的な民間手法の導入を進め、業務の効率化や事業効果の更なる向上に努めます。また、SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)を用いた公民連携による社会課題解決のための手法について検討を行っていきます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>昨年度は、共創デスクを通じた民間事業者からの提案について、3事業者と連携協定を締結するとともに、10提案を連携協力として具体的な活動につなげることで、市民サービスの向上を図ることができました。また、先進地視察を実施しSIB手法や市民ファンドなどを用いた地域の活性化や地域課題の解決手法について検討を行いました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>共創デスク等を通じ民間団体・企業からの提案やアイデアを積極的に市政運営に取り込み、業務の効率化や事業効果のさらなる向上に努めます。また、公益性の高い活動を行う団体等を支援・育成するための仕組みとしてコミュニティファンドに関する調査・研究を行い、松阪市モデルのコンセプト案の取りまとめを行います。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	指定管理者公募時などにおけるサウンディング型市場調査の実施数				目標種別	↑
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 件	5 件	7 件	10 件	
	実績	—	4 件	6 件	6 件	—	
	評価	—	S	S	B	—	
	今後の方針	公共施設の管理運営や未利用市有地の活用などにおいて、事業検討段階でのサウンディング型市場調査を実施し、市場の動向や事業の実現可能性、活用に向けたアイデア等の把握に努め、より良い事業の実施に繋がります。					
数値目標 ②	項目	共創デスクによる公民連携の取組数(累計)				目標種別	↑
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 件	4 件	6 件	8 件	
	実績	—	13 件	18 件	28 件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	共創デスクへ提案してもらいやすい環境づくりに取り組むとともに、提案いただいた内容については市全体で検討しながら、優れた提案等を市政運営に積極的に取り入れ、公共課題の解決や市民サービスの充実につなげます。					

関係所属
市政改革課

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

7. 市民のための市役所 ④市民との情報共有

評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長 中西 章		
令和4年度 実行宣言			
より見やすく、探しやすいホームページをめざしてリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>前回のリニューアルから5年が経過し、ホームページの情報整理・デザインの変更を行い、より「見やすい・探しやすい」ホームページをめざしてリニューアルを実施し、松阪市の情報や魅力を伝えるために検索機能やイベント情報などの充実に努めました。</p> <p>また、リニューアルに伴い、スマートフォンやタブレット利用時のメニューや検索機能を常に表示させることで利便性が向上しました。</p> <p>一方、市政バスや出前講座については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、利用件数は伸び悩む結果となりました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
「松阪ナビ」を知ってもらい、利用していただくために情報内容の充実に努め、「松阪ナビ」のダウンロード数の促進を図るため市内の店舗と協働した取組を実施します。			

評価者	総務部長 池田 肇		
令和4年度 実行宣言			
情報公開を進めるとともに改正個人情報保護法の施行に備え、個人情報保護施行条例を整備します。また、情報提供範囲の拡大を検討します。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>審議会などの会議の公開率89.6%、公文書公開400件、個人情報公開27件の請求があり、制度の基本原則に準じて公開しました。また、個人情報保護法の改正に伴い、個人情報保護施行条例の整備を行いました。なお、情報提供範囲の拡大については、引き続きその手法等の検討を行いました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努めます。			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	情報公開・情報提供に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	総務部長 池田 肇					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.96 /5	3.00 /5	3.05 /5	3.10 /5	
	実績	2.96 /5	— /5	2.93 /5	3.11 /5	—	
	評価	—	—	E	S	—	
今後の方針	情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取組によって市民満足度の向上をめざします。						
数値目標 ②	項目	市ホームページにおける月平均閲覧数				目標種別	→
	評価者	秘書広報局長 中西 章					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	200,000件	200,000件	200,000件	200,000件	
	実績	181,892件	312,413件	340,826件	276,073件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	昨年度リニューアルしたホームページをさらに充実させ、市政やイベント情報などを積極的に発信していきます。						
数値目標 ③	項目	総合アプリ(松阪ナビ)のダウンロード件数				目標種別	↑
	評価者	秘書広報局長 中西 章					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2,000 DL	4,000 DL	6,000 DL	8,000 DL	
	実績	1,496 DL	11,688 DL	20,055 DL	25,607 DL	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	ダウンロード件数は目標に達していますが、市内の店舗と協働してダウンロード数の促進を図ります。より多くの方に「松阪ナビ」を知ってもらい、より利用していただくためにも、周知方法の検討や情報内容の充実に取り組みます。						
数値目標 ④	項目	審議会などの会議公開率(公開及び一部公開/全体)				目標種別	↑
	評価者	総務部長 池田 肇					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	90.5 %	91.0 %	91.5 %	92.0 %	
	実績	90.0 %	91.8 %	91.4 %	89.6 %	—	
	評価	—	S	S	E	—	
今後の方針	審議会等の会議及びその議事録について、適時性のある情報を提供するとともに、非公開とする会議・議事録が増加しないように注意する。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ⑤	項目	SNS(インスタグラム、ツイッター等)の総フォロワー数				目標種別	↑
	評価者	秘書広報局長 中西 章					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7,000 件	8,000 件	9,000 件	10,000 件	
	実績	5,380 件	8,306 件	9,696 件	10,600 件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	松阪市の公式SNSのフォロワー数を増加させるために、さまざまな情報発信に努めていきます。					

関係所属
広報広聴課、総務課

7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営

評価者	企画振興部長 藤木 洋司		
令和4年度 実行宣言			
施設の統廃合、指定管理者制度など民間活力の積極的な導入等に取り組み、市民の利便性の維持・向上を図りつつライフサイクルコストの削減を進めていきます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
指定管理者制度の更新時期を迎えた公共施設に関し施設担当課と協議しながら、募集内容や施設使用料等の検討・見直しを行うとともに、リバーサイド茶倉については、指定管理者制度から民間事業者への有償貸付へ運営形態を移行することによりコストの削減を図りました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
公共施設の在り方について関係部局等と横断的な検討を行うとともに、民間事業者のノウハウやアイデア等も取り入れながら、公共施設におけるサービスの維持・向上やトータルコストの削減に取り組みます。			

評価者	総務部長 池田 肇		
令和4年度 実行宣言			
適正な予算編成・執行管理を行い、健全な財政運営に努めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
【歳入】			
予算収支の均衡を図る中、財政調整基金繰入金を可能な限り抑制しました。また市債については、市債残高の動向を踏まえつつ、合併特例事業債の発行期限が迫っていることから、充当可能な事業に有効に活用しました。			
【歳出】			
計12回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症対策を始め、社会経済情勢の変化に迅速に対応しました。また年々拡大していた一般会計予算額について、令和5年度当初予算編成では、予算規模にも注視し、コロナ禍前の700億円未満の水準に抑えました。			
令和3年度 財政力指数(※1)	0.571		
令和3年度 経常収支比率(※2)	81.7		
令和3年度 公債費負担率(※3)	11.5		
令和3年度 実質収支比率(※4)	4.8		
<small>※1 地方公共団体の財政力を示す指数であり、通常、基準財政収入額/基準財政需要額で求められた数値の過去3年間の平均値をいう。 ※2 財政構造の弾力性を測定する比率であり、経常経費充当一般財(経常一般財源総額(収入額)+臨時財政対策債)×100で求められる。人件費、扶助費、公債費等の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど、普通建設事業等の臨時的経費に充当できる経常一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。 ※3 当該団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標の一つで、次の算式で求められる。 公債費充当一般財源/一般財源総額×100 この比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいるといえ、一般的には、財政運営上15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。 ※4 実質収支の標準財政規模に対する割合をいう。概ね3～5%程度が望ましいと考えられている。 なお、実質収支が赤字の場合の実質収支比率が一定の限度を超える団体は、翌年度の地方債の発行が制限される。</small>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
引き続き適正な予算編成・執行管理を行い、健全で持続可能な財政運営に努めます。			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

評価者	税務担当理事 岡田 康		
令和4年度 実行宣言			
引き続き安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
新型コロナウイルス感染症、原材料価格の上昇や円安を背景とした物価高などによる消費への影響から市税等の財源確保が心配されましたが、適正な課税と徴収強化に努めたことにより、市税等の現年度分収納率目標値をおおむね達成する見込みです。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
より便利でより専門性の高い納税環境づくりに取り組み、安定的な財政運営のための自主財源の確保に努めます。			

評価者	競輪事業担当理事 松本 健		
令和4年度 実行宣言			
収益の増加・安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化するため、引き続きモーニングからミッドナイトまで競輪開催をするとともに、全国のネットユーザーに向けSNSを活用したタイムリーな情報発信を充実させ、視聴者プレゼント等注目度の高い企画を実施します。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
昨年度は、3億6千万円を一般会計に繰り入れ、健全な財政運営に資することができました。昨年度の総売上額は約215億円、対前年度比では約8億円の減少となりましたが、原因は開催日数が対前年度比で9日少なかったためと考えます。 全てのSNSを活用して参加選手の紹介やイベント、ファンサービス等の情報を全国のネットユーザーに発信し、若年層並びに新規ユーザーの満足度の向上に努めました。特にミッドナイト競輪では、6開催全てで売上額が10億円を超え、総売上増加に繋がりました。また視聴者プレゼントの総応募者数は5,435人、対前年度比103.6%と増加しました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
収益の増加・安定的な経営に努め、一般会計への繰り入れを強化するため、①モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯での開催 ②ネットユーザーへの車券購入促進や来場促進のための魅力ある企画の実施 ③幼児から大人まで各年齢層で楽しめる参加型イベント等を通じてサイクルスポーツの振興を図るとともに新規顧客の獲得に努めます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	市税の現年度課税分の収納率				目標種別	↑
	評価者	税務担当理事 岡田 康					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	98.60 %	98.60 %	98.70 %	98.90 %	
	実績	98.53 %	98.53 %	98.96 %	98.91 %	—	
	評価	—	E	S	S	—	
今後の方針	適正な課税と徴収強化及び納税環境の整備とデジタル化を継続的に進め、安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ②	項目	公共施設トータルコスト削減目標に対する達成率				目標種別	↑
	評価者	企画振興部長 藤木 洋司					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.5 %	5.0 %	7.5 %	10.0 %	
	実績	—	1.0 %	1.8 %	3.8 %	—	
	評価	—	D	D	C	—	
今後の方針	公共施設の統廃合によるコスト削減だけでなく、計画的な長寿命化対策を通じた修繕費や更新にかかるコストの抑制、当該施設で行われている業務の見直しや新たな民間活力の積極的な活用など、様々な視点から施設の管理運営の効率化に取り組んでいきます。						
数値目標 ③	項目	市債残高(一般会計)※臨時財政対策債を除く				目標種別	→
	評価者	総務部長 池田 肇					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	281億円以下	281億円以下	281億円以下	281億円以下	
	実績	281億円	237億円	248億円	267億円	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	臨時財政対策債を除く市債残高が、281億円を超えないようにします。						

関係所属	
市政改革課、総務課、財務課、市民税課、資産税課、収納課、債権回収対策課、競輪事業課	